

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金 事業検証結果

No	交付対象事業の名称	事業の概要	総事業費 (円)	実施成果・効果
1	県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業	長野県と市町村が連携して実施する、休業要請に応じた事業者に対する協力金等給付事業への市町村協力金(1事業者当たり県20万円・市町村10万円の計30万円)を給付。	4,300,000	主には飲食事業者が対象となったが、休業中の売上減少は甚大であったため、一定の効果はあった。
2	木島平村新型コロナウイルス対策事業持続化給付金事業	感染症拡大により、営業自粛等により特に大きな影響を受ける村内事業者に対して、事業の継続を支援、再起の糧としていただくため、前年同月比売上げ50%以上減少している事業者を対象に給付金を給付。	46,363,000	1次持続化給付金は国の持続化給付金対象者に限定し149事業者が対象となった。コロナ禍が長引いたため引き続き2次持続化給付金事業を行い89事業者が対象になった。対象売上げ期間の変更や売上げ減少率を下げるなどした結果、多くの事業者が対象となり事業継続の支援をした。
3	村内商品券配布事業	村内の消費活性化を図るため、村商工会加盟業者で使用できる商品券を村民一人につき3千円配布。	13,892,526	村民1人当たり3,000円分の商品券を配布した。使用率が96.1%と非常に高く、短期間で村内経済を活性化させた。
4	プレミアム付商品券発行事業	村内の消費活性化を図るため村商工会加盟業者で使用できる30%のプレミアム付商品券を発行。	16,230,816	1冊6,500円相当のプレミアム商品券を5,000円で販売した。1,000冊販売したがすぐに完売し、使用率も99.8%と非常に高く、村内経済の活性化の一助となった。
5	子育て世帯給付金事業	子育て世帯への生活支援のため、平成16年4月2日から令和2年3月31日生まれの子ども1人に対して1万円の給付金を給付。	5,220,000	国の「子育て世帯臨時特別給付金」の受給者へ、対象児童一人当たり1万円を支給。新型コロナウイルスの影響を受けている子育て世帯に対する、村の支援策として、国の行う給付事業に上乗せして支給を行った。(対象児童数:522人)
6	スクールバス運行継続支援事業	小中学校の休業に伴い、運行日が減り、委託料も減額となっているため、運行业者の事業継続が困難となり、小中学校の再開後にスクールバスが運行できないことがないよう運営事業者へ補助金を交付。	81,900	新型コロナウイルスによる小中学校の臨時休業に伴う委託料の減額に対する給付金の支給し、新型コロナウイルスの影響を受けた事業者の事業継続を支援することができた。(事業者への支給件数:1件)
7	給食調理従業員支援事業	小中学校の休業に伴い、給食センターも休業し、委託料も減額となっている。委託業者の事業継続が困難となり、小中学校の再開後に給食センターに運営ができないことがないよう補助金を交付。	409,000	新型コロナウイルスによる小中学校の臨時休業に伴う委託料の減額に対する給付金の支給し、新型コロナウイルスの影響を受けた事業者の事業継続を支援することができた。(事業者への支給件数:1件)
8	木島平村事業展開補助金	村内の事業者へ、設備等の更新、誘客宣伝、キャッシュレス化、WEBサイト更新などの経費に対して補助金を交付。	10,065,368	コロナ禍において、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら事業を継続していくための経費に対して補助を行った。設備改修に20事業者、誘客宣伝に2事業者、WEB改修に2事業者、備品購入に16事業者の計40事業者が対象となり、事業継続や新たな事業展開を図るための経費として役立てた。
9	木島平村宿泊割引キャンペーン事業	村内宿泊業の利用促進のため各施設の宿泊定員×2泊を上限に、1泊3千円を助成。	10,110,000	コロナの影響により、県外からの宿泊客が大幅に減少することが予想されたため、宿泊者への割引事業を展開し宿泊への誘導を図り、宿泊事業者への支援を行った。予算額に対して94.7%の利用率ががあり、売上げの落ち込みを軽減した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金 事業検証結果

10	木島平村宿泊促進キャンペーン事業	村内宿泊業の利用促進のため宿泊者へ村内産の米をプレゼント。	1,192,000	コロナの影響により、ダメージを受けた宿泊事業者に対して、誘客の促進を図るため、村の特産品である米を宿泊事業者に配布した。宿泊者へのお土産や食事に提供し好評であった。
11	木島平村観光振興局会員支援事業	木島平村観光振興局の会員が大幅な減収となっているため、年会費の半額を免除し、会員の負担軽減を図るとともに、会費減額に伴い、木島平村観光振興局の職員の雇用及び事業の継続ができなくなるよう補助金を交付。	4,749,000	宿泊事業者など観光振興局会員の経営安定化を図るため、2か年分の年会費をそれぞれ半額し、半額を補助した。その結果、継続して経営を続けることができています。
12	児童扶養手当臨時特別給付金事業	子育て世帯の生活を支援するため、児童扶養手当受給者へ子ども1人あたり1万円の給付金を給付。	460,000	令和2年4月分の児童扶養手当受給者に対し、対象児童一人当たり1万円を給付。新型コロナウイルスの影響等を受けているひとり親世帯に対し、村の支援策として、国が県を通して行う給付金給付事業に上乘せして支給を行った。(対象児童数:46人)
13	木島平村学生応援給付金事業	新型コロナウイルス感染症の影響でアルバイト収入が減少するなど、経済的に厳しい学生の皆さんの生活支援のため、保護者が村内に住民登録をしている学生へ1人あたり1万円の給付金を給付。	810,000	学生へ1人1万円の給付を実施し、アルバイト収入が減少し、経済的に厳しい学生を支援した。また、Eメールでの申請を可とし、速やかな給付ができるよう工夫した。
14	調布市内大学生支援×木島平村PR事業	姉妹都市の東京都調布市在住の学生への生活支援及び木島平村や木島平米を認知してもらい事態収束後の誘客や米の販売促進につなげるため木島平米を提供。	451,641	学生寮などを通じて、一人あたり2kgの木島平米を提供するとともに、村PR資材等を配布・掲示した。対象者を考慮し、QRコードによるアンテナショップへの誘導や、ハッシュタグ添付によるツイート等を依頼し、村及び農産物のPRに繋がった。
15	GIGAスクール端末購入事業	GIGAスクールの推進のため、児童生徒へ1人1台のタブレット端末、セキュリティ対策ソフト及びデジタル教科書を整備。(国庫補助金の対象とならない分)	13,420,000	GIGAスクール構想の実現に向けて、児童生徒用のタブレット端末購入、セキュリティ対策ソフト及びデジタル教科書を整備を行った。小中学校におけるICTを活用した授業の推進や家庭におけるオンライン学習の推進など、コロナ禍における学びを確保することができた。
16	GIGAスクール電源キャビネット設置事業	GIGAスクールの推進のため、タブレット端末用の電源キャビネットの整備。	1,716,000	児童生徒一人一台端末の活用を図るGIGAスクール構想の実現に向けて、タブレットPC充電保管庫設置工事を実施した。タブレットPCの適切な保管と充電を行い、ICTを活用した授業の推進を図った。(設置台数:9台)
17	公立学校情報機器整備費補助金	GIGAスクールの推進のため、MDM管理システム運用設計、ネットワーク・インストール設定業務等のGIGAスクールサポーター業務の委託。(国庫補助金の補助裏に充当)	3,080,000	児童生徒一人一台端末の活用を図るGIGAスクール構想の実現に向けて、GIGAスクールサポーター配置業務を委託した。ICTを活用した授業の支援や児童用タブレットPCの初期設定業務を行い、GIGAスクールの推進を図った。
18	新しい生活様式公共施設対応事業	公共施設での感染防止のため、非接触型体温計や加湿器等の機器や消毒用エタノール等の消耗品を整備。	2,048,970	公共施設における感染症防止に寄与することができた。
19	新しい生活様式対応支援補助金	村内事業者が新しい生活様式に対応するための備品購入費に対して補助金を交付。	1,944,094	村内事業者が実施した新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に要した経費に対して定額の補助を行った。大量に必要となるアルコール消毒液や非接触型体温計などの購入を促し、感染予防対策にもつながる事業となった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金 事業検証結果

20	災害対策事業	自然災害等に備えるとともに、避難所等での感染防止のため、マスクや消毒用エタノール、非接触型体温計等の備蓄品を整備。	1,912,680	感染症対策を講じた避難所の開設に備えることができた。
21	新生児特別定額給付金事業	子育て世帯への支援のため、国の特別定額給付金の対象とならない新生児を対象に1人あたり10万円の給付金を給付。	2,100,000	国の特別定額給付金対象外の新生児世帯へ経済的負担を軽減することができた。
22	事業者に対する土地賃借・家賃補助事業	新型コロナウイルスによって著しい影響を受けた事業者に対して、事業継続の下支えのため、国の家賃支援給付金を差し引いた土地賃借・家賃を補助。	10,438,596	土地賃借、家賃に対する国の家賃支援給付金に上乗せし補助をした。土地20件、家賃20件と当初想定を上回る申請があり、事業継続に対する効果があった。
23	スキー場リフト券補助事業	スキー場及び周辺宿泊事業者の事業継続・支援及びスキー場誘客のため、宿泊事業者へリフト券の配布。また全券種のリフト券を半額で販売し、半額分を補助。	80,999,090	首都圏などへの宿泊を伴う誘客は見込めないため、リフト券を半額とし長野県内及び周辺地域への誘客を図った。例年以上の売上に繋がり、木島平スキー場運営を継続することができた。
24	村内サイクルツーリズム事業	3密を避ける新しい観光スタイルとして、レンタサイクルによる村内周遊を推進するため、e-BIKE及びサイクルマップを整備。	2,291,740	E-bike8台を整備し、計10台を所有することとなった。これに伴いレンタサイクル事業や広域連携、さらにはサイクルツーリズムの下地を作ることができた。
25	木島平村特産品セット販売事業	村内事業者の特産品セットを特別価格で販売し、事業者支援を行い、割引分を補助。	2,668,326	アンテナショップを販売窓口とし、都市住民に対して村特産品セットの受注販売を行った。反響は大きく、コロナ禍により販売が滞っていた村産特産品の販売が促進され、村内事業者の支援に繋がった。
26	木島平村地域公共交通応援事業給付金	村内公共交通事業者及び村からの輸送業務を年単位で受託する事業者へ感染防止対策の環境整備を行うための給付金の給付。	900,000	村内の公共交通事業者及び村から輸送業務を受託する事業者へ感染症対策の環境を整備するための給付金を給付し感染防止対策を行いながら公共交通の運行に努めた。 事業者要件:1事業者あたり30万円(2事業者) 車輛要件:受託車輛1台あたり5万円(6台) 総額90万円を給付した。
27	学校保健特別対策事業費補助金	感染症対策を徹底しながら児童生徒の学習保障をするため、マスクや消毒用エタノール等の保健衛生用品の整備及び校内手洗いの児童水洗化を実施。(国庫補助金の補助裏に充当)	3,711,833	感染症予防消耗品等の購入、小便器の自動水栓化、加湿空気清浄機・飛沫防止パーテーション・非接触型体温計など学校衛生対策用備品を購入。新型コロナウイルス対策の徹底を図り、児童生徒の学びを確保した。
28	学校保健特別対策事業費補助金(単独分)	感染症対策を徹底しながら児童生徒の学習保障をするため、国の補助金の対象とならない部分の保健衛生用品の整備。	6,927,043	感染症予防消耗品等の購入、小便器の自動水栓化、加湿空気清浄機・飛沫防止パーテーション・非接触型体温計など学校衛生対策用備品を購入。新型コロナウイルス対策の徹底を図り、児童生徒の学びを確保した。
29	保育所管理運営事業	感染症対策を徹底しながら園児の活動保障をするため、蛇口の自動水洗化や保健衛生用品等を整備。	1,004,100	保育園における新型コロナウイルス感染対策に係る工事や物品の購入を行った。(男子小便器自動水洗取り換え工事、手洗い場自動水洗取り換え工事、おひさま保育園備品購入)感染予防することで子どもたちが安心かつ安全な園生活を送ることができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金 事業検証結果

30	新しい生活様式対応イベント用備品購入事業	屋外イベント時の感染防止対策として、相対せずに情報を受けれるよう、インフォメーションボード及び清掃・消毒のためのプロウを整備。	213,400	インフォメーションボード、プロウを購入したことで、イベント運営スタッフ及び施設利用者の感染症対策が充実した。
31	公民館講義内容収録システム整備事業	公民館の各種講座が新型コロナウイルスの影響で開催ができていないため、収録した講座を受講希望者へ配信するための設備を整備。	361,350	各種講演会等の様子を撮影配信することで、コロナ感染症対策を実施しつつ、有益な情報発信を行うことが出来た。
32	スポーツイベント用備品購入事業	自粛生活によるストレスを解消するため、住民が軽スポーツに親しむためのスポーツ用備品を整備。	145,915	少人数から体験できるスポーツ用具を購入し、感染対策を講じながらスポーツ推進員の指導の下、スポーツ教室を開催し住民のリフレッシュに努めた。
33	指定管理者支援金事業	新型コロナウイルスにより影響を受けた村施設を運営する指定管理者へ管理維持体制を持続してもらうため支援金を交付。	14,700,000	本村の主要観光施設である、木島平スキー場、馬曲温泉、内山手すき和紙体験の家の指定管理者に対し、事業継続を前提に補助を行った。いずれの施設もコロナ禍で入込み減少が想定されたが、継続することができた。
34	新型コロナウイルス対策資金利子等補助金	新型コロナウイルスにより著しい影響を受けた中小企業者の借入に対し、利子の一部及び信用保証料を補助。	3,553,825	中小企業の経営安定を図るため、金融機関からの事業者支援制度借入に対し、一部を補助した。13件の事業者に対して補助を行い、後年度分の補助金を基金に積んだ。
35	GOTO木島平キャンペーン事業	国のGOTOキャンペーンに合わせて首都圏向けに観光PRポスターの掲示や県内でのTVCM等にて誘客宣伝を実施。	5,000,680	本村観光施設の誘客促進のため、県内、周辺地域をターゲットにテレビ、新聞、冊子、SNS、チラシなどでPRを行った。特に木島平スキー場で効果があった。
36	ウェブ環境整備支援事業	新型コロナウイルスの影響により販売活動が縮小している村内事業者のインターネット販売の取組を支援するため、ウェブサイトのリニューアルやインターネット販売ページの立上げに際し、その費用を補助。	300,000	補助対象経費の10分の10以内、300千円上限として補助事業を実施し、1社からの申請に対応した。新たな生活様式に対応した販売環境整備を支援した。
37	道の駅ファームス木島平安心・安全空間確保事業	道の駅の来場者が安心・安全に利用してもらうため、施設の改修及び必要な備品を整備。	689,150	コロナ禍以前まで共用ボットやデキャンタ等で対応していた給茶・給水を、給茶機を導入することにより、接触機会の減少を図った。また、屋外にドックランを整備し、多様な来訪者の密接防止を図った。
38	道の駅ファームス木島平地元産材活用支援事業	新型コロナウイルスの影響を受けた地域経済の支援のため、県産材を活用し、道の駅ファームス木島平に椅子・テーブルを整備。	484,000	道の駅屋内外で使用するテーブル・イスを、県産材で整備することにより、地域経済の支援と来訪者の密接防止を図った。
39	避難所等災害情報受信機器環境整備事業	避難所で感染症などの最新情報の受発信通信手段を確保するため、Wi-Fi環境、テレビ及びアンテナを整備。	877,800	避難所における感染症などの情報受信手段を確保し、災害時にも最新の情報を受けとることができるように機器を整備した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金 事業検証結果

40	子ども・子育て支援交付金	新型コロナウイルス感染症対策に伴う、小学校の臨時休業等により、春休み終了日の翌日以降開所する放課後児童クラブ運営に係る経費。 (国庫補助金の補助裏に充当)	570,166	新型コロナウイルスの影響に伴う小学校の臨時休校期間中における放課後児童クラブ運営の継続によって、保護者が仕事で家にいない家庭等に対対する保護者への負担軽減、子育て家庭への支援を図ることができた。
41	障害者総合支援事業費補助金	相談支援専門員等の専門職が在宅障害者等に対して、集中的に個別訪問による現状把握や必要に応じた関係支援機関へのつなぎ、専門的な生活支援等の助言を実施するための委託料。 (国庫補助金の補助裏に充当)	50,205	専門職の個別訪問により、対象障害者の状況把握と適切なサービスへつなぐことができた。
42	ZOOMライセンス購入事業	小中学校の臨時休業等に伴うオンライン授業開催のためのZoomの有償ライセンスの取得の経費。	168,630	新型コロナウイルスによる学校休業時における遠隔授業や、家庭におけるオンライン学習を推進するため、指導者用ZOOMライセンスを購入。GIGAスクール構想における児童生徒の1人1台端末の整備と合わせて、新型コロナウイルスによる学校休業時の遠隔授業等に備えることができた。
合計			276,612,844	
地方創生臨時交付金交付額			255,378,000	